



4日は、お足元の悪い中、授業参観にご来校いただき、ありがとうございました。

1年生と6年生の授業では、保護者の方にも学習に参加していただきました。1年生は粘土で作ったご馳走をお家の人に見てもらい、「これはなあに？」などのやりとりを楽しみました。6年生は算数で解いた答えの確認を保護者の方にいただきました。

「こうやって保護者の方に関わっていただくのも、小学校時代だけではないのだろうか」と、一番小さな学年と大きな学年の授業を見ながら、このひと時のかけがえのなさを思いました。



授業参観は、まだ続きます

2年生の算数では、「4人乗りのウォータースライダー3台だと何人乗れるか」ということを、自分が店員になり、お客さんに伝えるための看板(図)をかきました。同様に、ひまわり組では、算数の「比」の学習を、めんつゆなどのボトルのラベルを使って学びました。日常の場面を思い浮かべることで学習が身近になります。



3年生は、先日、見学に行ったスーパーマーケットでの発見を発表し合い、まとめました。気付いたことや驚いたことを言葉でまとめることで、より価値のある体験として子どもの中に残ります。

4年生は、郷土の伝統についての学習をしました。ひょうげまつりの由来など、郷土の面白さを勉強した子どもたちは、これからその興味を国内、そして世界へと広げていきます。



もも組では、算数の答えは一つでも解き方は二通りあることをじっくりと考えました。いろいろな考え方があることを知るの、算数に限らず、人と関わる上での大切な学習になります。

1秒の言葉

5年生の授業は道徳「心をこめて 1秒の言葉」でした。子どもたちそれぞれが、自分の気持ちが温くなる1秒の言葉を発表しました。子どもたちが作ったのは次のような言葉でした。

「がんばれ」
この1秒ほどの短い言葉に、
これまでのがんばりが
よみがえってくることもある

「ナイス」
この1秒ほどの短い言葉に
次もがんばろうと
思うことがある

「いっしょに遊ぼう」
この1秒ほどの
短い言葉に
一生の友達だと感じる

「上手すぎ」
この1秒ほどの言葉で
自分に大きな自信を
感じることもある

「がんばれ」「ナイス」……。確かにどれも1秒で発することのできる言葉です。しかしその言葉には、子どもたちが受け取ったように、過去をさかのぼり、そして未来にまで影響を与える力があります。

翻って、同じようなことが他の場面でもあるのではないかと考えてみると、例えば、トイレを使った後、ちょっと振り返って自分のスリッパを並べること。例えば、自分が使ったものを元通り、きれいに片づけておくこと。ほんの数秒で後の人が気持ちよく使えるのに、私たちはそれをおろそかにしがちです。

1秒の言葉、ほんの数秒の行動。それを惜しむことで、人との関係を貧しくしていないか。自分を落としていないか。5年生の作った言葉を読み返しながらかえました。授業参観で投げかけられた宿題のようです。

授業参観は、まだ続きます。